

▼カルバン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ベ vantolol 塩酸塩 bevantolol hydrochloride 【分類】 交感神経 α 1 β 1 遮断剤
【単位】 ▼25mg・▼50mg・▼100mg/錠
【常用量】 100mg/日 [最大 200mg/日]
【用法】 分2
【透析患者への投与方法】 減量の必要はないと思われるが少量から開始 (5)
【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要はないと思われる少量から開始 (5)
【特徴】 α , β 遮断薬。弱い Ca 拮抗作用も認められている。
【主な副作用・毒性】 徐脈, 洞性徐脈, 動悸, 喘息発作, 血清コレステロール上昇, 血中尿酸上昇など
【Ka】 0.211/hr (1)
【F】 平均 57%で個人差あり (1)
【tmax】 0.75 \pm 0.27hr (1)
【代謝】 抱合及び酸化を受ける (1) CYP2D6, 3A4 が関与 (1) 代謝物はほとんど抱合体として存在しており, 薬効はない (1)
【排泄】 累積尿中未変化体排泄率 0.59% [48 時間まで] (1) 尿中回収率 [120 時間まで] 72.2% (1) 【CL】 388 \pm 25mL/min (1)
【t1/2】 α 相: 1.36 \pm 0.56hr, β 相: 9.7 \pm 6.0hr (1) 【Ke】 0.0760/hr (1)
【蛋白結合率】 99%以上 (1)
【Vd】 62.3L/man (1)
【MW】 381.89
【透析性】 蛋白結合率が高く, 透析されないとされる (5)
【OW 係数】 17.3 [1-オクタノール水系, pH7.0] (1)
【備考】 β 1/ β 2 遮断効力比は 11.5 \sim 32, β 1/ α 1 遮断効力比約 14 (1) ISA なし (1)
【更新日】 20140813

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。